

畦溝三人位三百六十座、踏位一人、下子半人、壅一人、芸三遍第一遍十人、第二遍八人、第三遍七人、五

〔農業全書〕瓜之類甜瓜、菜瓜、越瓜、胡瓜、冬瓜、西瓜、南瓜、絲瓜、瓠瓜

瓜に大小あり、小き物甘く、大きな物淡し、甜瓜、甘瓜と云、唐瓜といふ。○中種子を收め置く事は、さかりの熟瓜の味勝れたるを、あとさきを切さり、中程の實ばかりを取て、段々灰にませ、多くあつめをきて、後ゆかきに入、清く洗ひ、粘り氣少もなく成たる時、浮きたるをさり、なる程よく干して、布の袋か箱に入、おさめ置べし、若其ま、あとさきのたねも共にうゆるか、本なり、又は末なりのたねを用れば、必たねがはりする物なれば、中なりの味よく、形よきをもあゆべし、さきの方の子は瓜短し、本の方の子は、口ゆがみ曲りて細し、又種子を收る法、瓜を食して勝れて、甜きをゑらび、すりぬかにませて、日に干し晒して、揉てぬかと糝を籾去て、おさめ置もよし、瓜を植る地の事、黒地赤土黄色の、少は沙交りて、光色ありて、粘り氣すくなきがよし、さのみ肥たるを好ず、土性よく強く、濕氣はなくして、早に水を引に便りよきをゑらふべし、土地肥和らかにして、よくやかなるは、よくさかへふとるといへども、味よからず、瓜を作るべき地は、前年に小豆を作りたるよし、其次は黍跡もよし、冬より耕し、雪霜にさらし、幾度もちこなし置べし。○中さて根のわきをたびたび打こなし、心葉出る時、四五寸わきに、手のはらほど少しながく穴をなし、但深さ二寸餘り、其中へ濃糞のよく熟したるを、一盃入干付置、其後やがて土をおほひ、又五七日も間を置て、右の所より五六寸も遠のけて、穴を廣くし、糞を入、土を覆ふこと前のごとくし、又其後も段々かくのごとくすべし、凡かやうに、四方に穴をなし、先四度入るを中分とするなり、又糞は二番までは桶糞を用ひ、其後は廻りを丸くほりまはし、油糟を入べし、かくのごとくする事、二三遍なれば、瓜の味勝れてよき物なり、摠じて糞を入るには、うへ物のわき根のさきと、こゑの氣と五六日も過て